

# 令和5年度 学位記授与式

## 式 辞

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

また、保護者・ご家族の皆さまには心よりお祝いを申し上げます。

併せて、皆さまには、これまで4年間、本学の教育に対するご協力とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

卒業生の門出をお祝いし、ご多忙の中、ご来賓の皆さまにご出席を賜りました。御礼を申し上げます。

さて、本日、本学を巣立つ卒業生は、経営学部・経営学科、イベントプロデュース学科と大学院修了者を含めて総計258名です。学部生の方は4年間、大学院生、編入者の皆さまは2年間、所定の課程を無事に修了し、晴れて卒業の日を迎えられました。

こうして皆さまの前で、卒業式を挙行できますことは、教職員一同、大きな喜びです。

卒業生の皆さんは、2020年3月に新型コロナウイルス感染症パンデミックが宣言された影響により期待に胸を膨らませて本学での大学生活を楽しみにされていたところ、来校ができず、自宅での遠隔授業をお願いし、ゼミやサークル活動も大きな制約をさせて頂きました。大変残念

だったと思います。皆さまに大変ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びします。このような苦しい状況を乗り越え、辛かった経験や対応力は、これからの皆さまの社会生活に大きな糧となるものと確信をしています。

明日から、皆さんは社会人としてスタートラインに立ちました。それぞれが違う道を歩かれていきます。

皆さまが学ばれたこの 4 年間、世界は激しく変動しました。新型コロナウイルス感染症パンデミック以外にも、大国による他国への侵略、領土戦争、異常気象や今年初めの能登大震災など、今や予測不可能な時代に突入しています。

一方で、デジタル技術や科学技術も急速に進展しています。ChatGPT など生成 AI や DX 化の時代に入り、テクノロジーがますます加速・進化しています。

イギリスのロンドン・ビジネススクールのリンダ・グラットン教授らが提唱した「人生 100 年時代の人生戦略」では、人生が短かった時代の人生設計は、「教育」「仕事」「引退」という 3 つのステージを基本としていました。しかし、今や、この 3 ステージでは終わらな

いと言っています。

これからは、人生のマルチステージ化が進み、ステージを組み替えながら柔軟に自分らしい生き方を見つけていくマルチステージの生き方を提唱しています。例えば、複数の仕事や活動を同時並行で携わったり、自由と柔軟性を重んじて小さなビジネスを起こしたり、再度、大学や大学院で学び直すなど、人生において何度もステージの移行と変化を経験する生き方です。

皆さんは、今後、生涯で何回もステージが変わり、4つ、5つのキャリアをもつことになると思います。

人生 100 年時代に逞しく生き抜くために、自分の専門性を身に付けて頂きたい。今は、「自分の価値」が求められる時代です。自分の価値は、労働時間ではなく、専門性を身に付けた価値です。

そのためには、「自分が好きなこと」「自分が面白いこと」を大きな軸にして、その分野で「自分らしい問いかけ」をしていけば、様々な疑問や問題が見つかり、それをより掘り下げていけば専門性が高まっていきます。たくさん知識やツール、資格などを詰め組むだけではなく、専門性を身に付けるには絶えずアウトプットをしていくことが大事です。

まずは自分が選んだ仕事を懸命に取り組み、仕事を通じて「学ぶ姿勢」を身に付けて欲しい。自分が選んだ仕事は、自分が描いたものとは違っていたケースもあるが、愚痴や文句を言う前に、その仕事に打ち込んでみることです。仕事を通じてスキルを磨き、専門性を高めていくことです。意に沿わない仕事でも、あなたを磨く力を秘めているからです。また、時代の流れは速いので、新しい専門性がどんどん生まれてくる状況になっています。専門性をアップデートし続ける必要もあります。

次に、自分にとって難しい問題にぶち当たった時に、そこで投げ出さず、「自分なら絶対できる」と信じて突き進むみ、その結果が思わしくなかったりとしても構いません。逃げないことが大切です。この経験が次のステップで自信にもなります。

また、会社や職場以外での様々なコミュニティや仲間との交流をお勧めします。仕事を通じての仲間ではなく、スポーツや趣味の仲間、研究会、地域ボランティアへの参加などで、自分と合う価値観をもった人と繋がることも大事です。

マルチステージ化が進む中で、違ったコミュニティや仲間との交流が、新たなステージに移行する際に、大いに役立つことになります。

さらに、人生 100 年時代には、当然平均寿命も延びますので、将来ステージでの金銭的な問題にも、自分なりの資産設計を描いて、稼ぐ力・増やす力・貯める力をバランスよく実行していくことも考え、実行していくことが必要です。

是非、これらの 4 つのこと、1 つ目は専門性を身に付けること、そのために最初は、選んだ仕事に打ち込むこと、2 つ目は失敗を恐れず、その障害にも逃げないこと、3 つ目は多様なコミュニティに参加すること、4 つ目は資産設計を描いて実行すること、これらを念頭に置いて社会生活を始めて頂ければ、必ず道が開けられます。

本学で 4 年間での学びや物事の見方をベースに、本学の卒業生として自信をもち、社会で経験を重ねていくことで、自分の専門性を磨き、いろいろな仲間と交流することで、物事を極めていくことができます。

明日から社会人としてスタートラインに立つ皆さんを、これからも応援してまいります。

本学は、今年、創立 81 周年を迎えます。創立者高田勇道先生の「人道による世界平和」の理想の下、「時代を拓かんとする人材を養成せ

んとするもの」とする建学の趣旨を実現すべく、今後も教育の質をより高めるよう取り組んでまいります。そして、多くの企業や組織、地域からの高い評価を、さらにゆるぎないものとするべく、今後も努力をしていく決意です。

改めて皆様のご努力に拍手をお送り致します。卒業生の皆様を支えて下さった保護者・ご家族の皆様にも改めて敬意を表します。

最後になりましたが、卒業生の皆さんが、今後とも健康で充実した社会生活を送られることを祈念して、私の式辞といたします。

令和6年3月20日

学長 青山 和正